

青年委員会だより

平成 19 年 11 月 1 日 (第 92 号)

(社)青森県建築士会青森支部青年委員会



11月4日(日)に、中央市民センター祭りに、「地震を学ぼう」委員会が参加してきました。

中央市民センターの娯楽室を借りて、小学生を対象とした、減災意識を遊びながら高めようという企画で、「減災カルタ大会」を開催しました。

「減災カルタ」とは、宮城県の東北福祉大学と仙台市民のボランティアで作った、減災に関する標語をカルタにしたもので、

『す』『住み慣れた我が家チェック耐震診断』などがあり、ゲーム途中にスタッフによる標語の解説もあり、楽しみながら減災について子供達は学んだのではないかと感じています。

ゲームの方は、子供達は真剣で、決勝戦を行ったグループは緊張している子供達ができるほど

白熱しておりまして、一つのカルタに5人ちかくが同時に取りに来て審判をしていたスタッフ達も判定に悩み、じゃんけんをしてもらうシーンもちらほらと見えました。

優勝賞品は、防災リュックという防災グッズが一式セットではいっているリュック、準優勝はラジオと懐中電灯と携帯の充電器がセットになった、防災ラジオなど防災グッズを賞品にしました。

この賞品を買いにホームセンターに足を運んだのですが、防災グッズコーナーの品揃えが意外に少なく青森市はまだ、減災意識が薄くこういった「地震を学ぼう」のような活動は継続していくべきなのかな？と感じさせられました。

青森市役所の危機管理室より、アルファ米という災害時、水やお湯などで作る非常食の提供もあり、休憩時間を使って、非常食作りの実演を行い、ゲーム終了後には子供達にお土産として渡しました。

割り箸、容器、しゃもじなど全て真空パックに入っていて5年間食べられる優れもの、今回は五目ご飯のアルファ米を食べましたが、他に山菜おこわのアルファ米もありまして、五目ご飯を食べたスタッフは非常食とは思えないくらい美味しいと絶賛でした。



当日は、休日の中「減災カルタ大会」の応援にかけつけてくださった、多くの建築士会の皆様のおかげで無事にイベントを終えることが出来、また盛況に終わりました。

当日イベントを手伝って下さったスタッフ、当日これないながらも、ポスター作りや前準備を手伝って下さった多くの皆様に深くお礼申し上げます。

「地震を学ぼう」委員会・委員長 稲見公介

今月の青年委員会定例会はお休みいたします

裏面にボーリング大会の案内あります。皆さん、ボーリング大会がんばりましょう！